

令和6年度事業報告書

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター

第1 組織運営状況

令和6年度は、未来の漁業を支える人材育成から、被災地の支援、そして地域社会への貢献まで、多岐にわたる活動に取り組んだ。

令和5年度に立ち上げた小中学生向けのウェブサイト「漁師ナビ」は、子どもたちが漁業に触れるきっかけとなり、アクセス数も順調に伸びている。また、7月第3月曜日「漁師の日」には漁業就業支援フェア東京会場において小学生向けのセミナーを開催するなど、これまで以上に、幅広い世代に漁業の魅力を伝えられるよう活動範囲を広げ、イベントやSNSを通じて、一般の方々の理解と関心を深めることに注力した。

令和6年1月に立ち上げた「能登半島応援プロジェクト」は当初予定より1ヶ月延長し、令和6年10月まで実施したところ、多くの方々から温かいご支援をいただき、石川県漁業協同組合様への寄付が1,076,910円となった。その後、全国漁業協同組合連合会様のご協力を得て、令和7年3月に開催された全国青年女性交流大会会場において、グッズ販売を通じた募金活動を行い、71,500円を漁船海難遺児育英会様に寄付した。

また、平成27年から続けている函館少年刑務所への訪問活動が10年を迎え、函館少年刑務所長より感謝状をいただいた。

その他、漁師.jp サポーター向けにオンラインでメンタルヘルス講習会、乗組員等に向けたハラスメント講習会を開催するなど労働環境改善に努めた。

令和6年度末の会員数は、正会員5名、一般会員45社、賛助会員18会社・団体となった。また、当センターの取り組みを広めるために募集している「漁師.jp PR パートナー」は、現在の登録者数約400となった。

【会員及び理事及び監事】

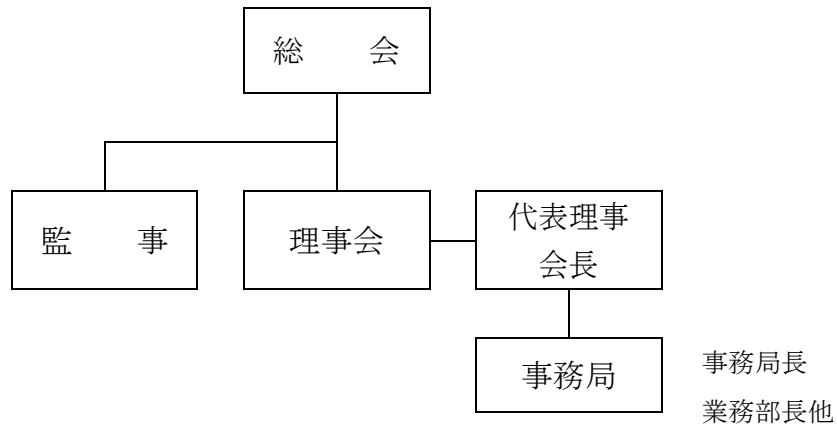
会員数 正会員5名、一般会員45社、賛助会員18団体

理 事 5名（うち1名は代表理事） 監 事 2名

正 会 員	小坂 智規（代表理事） 三浦 秀樹（理 事） 土屋 和（理 事） 納富 善裕（理 事） 松本 冬樹（理 事）
監 事	田中 要範、平井 克則

【組織の機構及び事務局】

機構図



【監事監査】

令和6年6月16日（水）16：00～16：50（MG目黒駅前ビル会議室B）

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について
- 第2号議案 その他

【第1回理事会】

令和6年6月25日（火）10：30～11：00（MG目黒駅前ビル会議室I）

- 第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算書の変更について
- 第2号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について
- 第3号議案 役員の改選について
- 第4号議案 旅費規程の改定について
- 第5号議案 その他

【社員総会】

令和6年6月25日（火）11：00～11：15（MG目黒駅前ビル会議室I）

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について
- 第2号議案 役員の改選について
- 第3号議案 その他

【第2回理事会】

令和6年6月25日（火）11：15～11：25（MG目黒駅前ビル会議室I）

- 第1号議案 代表理事会長の互選について
- 第2号議案 その他

【第3回理事会】

令和7年3月25日（火）10：30～11：00（MG目黒駅前ビル会議室I）

- 第1号議案 令和7年度事業計画及び収支予算書について
- 第2号議案 その他

第2 事業実施状況報告

(1) 新規就業者対策としては、経営体育成総合支援事業（令和5年度当初予算（繰越分）、令和6年度当初予算）、漁業担い手確保緊急支援事業（令和5年度補正予算・令和6年度補正予算）を実施した。

予算名	補助金	
経営体育成総合支援事業		
【令和5年度当初予算（繰越分）】	予算額	43,215 千円
	実績額	43,215 千円
【令和6年度当初予算】	予算額	409,179 千円
	実績額	384,489 千円
漁業担い手確保緊急支援事業		
【令和5年度補正予算】	予算額	200,843 千円
	実績額	188,975 千円
【令和6年度補正予算】	予算額	400,426 千円
令和7年3月10日交付決定	実績額	0 千円
		(次年度へ 400,426 千円繰越承認取得済)

・次世代人材投資（準備型）事業については、漁業への就業に向け、都道府県等が認める研修を実施する漁業学校等において研修を受ける者に支援金（最大150万円／人）を支給した。

実績：10地域39名

(内訳) 岩手県4名 静岡県5名 宮城県2名 鹿児島県2名 香川県2名
宮崎県8名 徳島県4名 京都府10名 北海道1名 大日本水産会1名

・各都道府県に設置されている事業実施機関に対し、事業が円滑に行われるよう指導を行った。

実績：37都道府県 助成額 357,041 千円 (R6当初) 132,121 千円 (R5補正)

・漁業への就業希望者が円滑に漁業に就業できるよう東京、大阪、福岡で漁業就業支援フェアを開催した。

実績：3都市5回開催 出展 306 団体 来場者数 616 名

◆福岡 福岡ファッションビル 7月6日 出展 53 団体 来場者数 58 名
◆東京 産業貿易センター浜松町館 7月15日 出展 80 団体、来場者数 174 名
◆大阪 OMM ビル 7月27日 出展 72 団体、来場者 89 名
◆大阪 OMM ビル 2月15日 出展 51 団体、来場者数 123 名
◆東京 大田区産業プラザ PiO 2月22日 出展 50 団体、来場者数 172 名

- ・漁業未経験者に対し現場研修を実施した。

実績：348名 (内訳) 沿岸漁業研修生344名 沖合・遠洋漁業研修生4名
--

- ・全国の水産・海洋系高等学校等において「漁師の仕事！知る授業」を開催した。また、静岡県焼津市で「漁師の仕事！船と漁業を知る授業」を開催した。

実績：15校17回（水産・海洋系高等学校） 北海道小樽水産高校、北海道函館水産高校、宮城県水産高校、山形県立加茂水産高校、 栃木県立馬頭高校、千葉県立大原高校、東京都立大島海洋国際高校、 神奈川県立海洋科学高校(3回開催)、新潟県立海洋高校、富山県立滑川高校、 静岡県立焼津水産高校、愛知県立三谷水産高校、三重県立水産高校、 徳島県立科学技術高校、沖縄県立沖縄水産高校 その他、横浜市立保土ヶ谷中学校、小学生向けセミナー開催
--

- ・技術習得をする際に支援を行った。

実績：358名 (内訳) 資格取得講習会 321名（60回） 経営能力講習会 37名（1回）
--

- ・任期制自衛隊員向けの就職相談会が8月28日東京、9月11日名古屋にて開催され、これに参加した。
- ・函館少年刑務所で6月13日、2月6日～7日に漁業就労セミナーを開催した。
- ・一般会員の求人情報をとりまとめ「協力企業情報 2024」を作成し、水産高校に配布した。新たに漁師.jp サポーターweb サイトを開設し一般会員の活動の普及を行った。
- ・SNS（Facebook、X、LINE、Instagram、YouTube、TikTok）により情報発信した。

（2）東北地域の支援事業である、「被災地次世代漁業人材確保支援事業」を実施した。

事業名	補助金	
被災地次世代漁業人材確保支援事業 【令和5年度予算（繰越分）】	予算額	206,560 千円
	実績額	16,677 千円
【令和6年度予算】	予算額	467,302 千円
	実績額	162,855 千円

- ・各都道府県に設置されている事業実施機関に対し、事業が円滑に行われるよう指導を行った。

実績：5 県 助成額 145,727 千円

- ・漁業未経験者に対し現場研修を実施した。

実績：57 名

(内訳) 沿岸漁業研修生 44 名 沖合・遠洋漁業研修生 13 名

- ・技術習得をする際に支援を行った。

実績：資格取得講習会 173 名 (12 回)

(3) 漁船の安全対策のため「漁船安全対策推進事業」を実施した。

事業名	補助金	
漁船安全対策推進事業	予算額	6,053 千円
	実績額	2,898 千円

- ・7月19日、3月11日に安全点検マニュアル作成普及等検討委員会を開催した。
- ・事故を未然に防ぐための「カイゼン講習会」を8回開催した。
- ・10月に漁業者が自ら漁船安全について SNS 等で投稿する「漁師.jp 安全月間キャンペーン」を行った。1 か月間の画像投稿閲覧：16.7 万回、動画投稿再生：5 万回